

漢文マニ教經典と景教經典の巨視的比較

林悟殊

(中山大學、廣州)

本稿は巨視的な角度から、20世紀に公開された漢文マニ教經典と景教經典の概況について、寫本の收藏と公刊およびその眞偽の鑑別、經文の翻譯・傳播およびその消滅・歸結を重視しつつ、先學の研究の基礎の上に、筆者個人の考察を結合し、要點を選んで紹介し、同時に兩者を相互に比較する。本論では、現存の四つのマニ教寫本は眞に信賴でき、眞偽を辨別する問題はないと考える。しかし景教の寫經は眞本以外に、なお明らかに偽物が入り亂れ、さらに二卷の考察を要する疑わしい經典がある。本稿では、兩教の寫經の眞偽を生みだした社會的、歴史的背景について考察する。このほか、本稿ではさらに現有の文獻資料に基づき、兩教の當時の中國における經典翻譯の規模と、それらの經典の宗教迫害後の運命について相應の検討を加える。

林悟殊 LIN Wushu りん・ごしゅ

1943年生

中山大學歴史系教授 博士生導師

主要著作 《古代日耳曼人》 《古代摩尼教》 《摩尼教及其東傳》 《波斯拜火與古代中國》 《唐代景教再研究》ほか多数